

読書ノートの 書き方



年

名前

読書のめあて

めあて

めあて達成の方法

◎どくしょノートをかきましょう。

図書館にはたくさんの本があります。本を読んだら、どんな本を読んで、どんなことを思ったのか、書いておきましょう。

このてびきをさんこうにして、思い出のノート作りをしましょう。

1. どくしょのめあて

- ・読書ノートを書き始める前に、読書のめあてを決めましょう。
- ・めあてを達成する方法も考えましょう。

2. どくしょのきろく

- ・本を読んだらかならず書きましょう。
- ・記ろくばんごうは、ノートが新しくなっても、つづきばんごうにしましょう。
- ・記録するページが足りないときは、コピーしてもらって書きましょう。

3. どくしょのかんそう

本ほんをよんで心こころにのこったことを書かいてみましよう。 たとえば

☆こんなところでわらったよ

☆こんなところでなみだがでたよ

☆こんなところでドキドキしたよ

☆・・・だから、やさしいなあ

☆ぼくなら、こうするよ

☆こんなことがわかったよ

☆こんなこともっと知りしたいなあ

☆お話を書かいた人やお話しに出てくる人に、
手紙てがみを書かこう。

☆「もしも、わたしじぶんだったら・・・」と、自分じぶんとく
らべて考かんがえたことを書かこう。

☆つづき話はなしを書かこう。

☆つづき話はなしを作つくってみよう。

☆ぬき書がき、メモ書がきもできるよ。

☆図ずかん・じてん・理科りかの本ほんなど、はじめて
知しったこと、めずらしいことなどを書かこう。

☆いちばん心こころにのこったことは…。

☆作さくしゃさんが言いいたいのは…。

4. しらべたこと・わかったこと

- ① 本^{ほん}でしらべてわかったことやはじめて知^しったこと、おもしろいと思^{おも}ったことなどを書^かこう。
- ② ぬき書^がきやメモ書^がきをしよう。
- ③ ざっしのコピーや新聞^{しんぶん}のきりぬきをはる方法^{ほうほう}もあるよ。
- ④ べんきょうでつく^{つく}ったものをはる方法^{ほうほう}もあるよ。
- ⑤ だいじなところをいろづ^{いろづ}けておくとわ^わかりやすいね。

5. より楽しいノートにするために

- ① 工夫^{くふう}をしてみよう。
☆ すきなところのえをかく。
☆ しゃしんをはる。 ☆ 図^ずを入^いれる。
- ② 親子読^よ書^まもいいね。いえの人^{ひと}といっしょに書^かいたり先生^{せんせい}にも書^かいてもらっても楽^{たの}しいね。

6. ふりかえりをしよう

- ☆ 何^{なん}月^{がつ}に何^{なん}冊^{さつ}読^よんだ？
- ☆ どん^{ほん}な本^{ほん}を^よ読^よんでいるかな？